

●助成金のお願い

Q.

お米を作っています。40年余り農業をして今年の様な水不足は何年か前に経験していますが、高温障害は初めてで水不足、高温とダブルパンチを受け苦しんでいます。昨年より反別が増え少し楽になるかと一生懸命頑張って作りましたが、昨年よりも等級が下がり、収入が大きく減りました。

自然による気候変動には勝てず来年の運転資金に苦しんでいます。マイナスから始めた農業でしたが、周りは辞める人が後を絶たず私どもも後継者不足の今辞める地域は動物のすみかになり、猿、猪、熊等が我が物顔になってしまう事を思うと中々辞めるにも辞められず地域の人たちにはエールを頂いていますが、今年こそはとプラスになると思っていましたが大きなショックを受けています。

なんとか年を越し来年作付け出来るよう少しでも助けを頂きたくペンを取りました。

沢山の要望の中少しでも気にとめて頂けたら幸いです。よろしくお願い致します。

(令和6年1月受付)

A.

昨年夏の高温・少雨により収入が減少し、来年の作付けに向けて苦しい現状を抱えておられるとのことであり、他の多くの農業者の皆様も同じような思いをされているのではないかと、私も大変心を痛めているところであります。

しかし、私は、困っている農家の皆様を見捨てるようなことは決していたしません。

農業は当市の基幹産業であり、農家の皆様に元気を出していただかなければ、当市の発展はありません。

また、当市の将来都市像に掲げる「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」の実現に向けても、市内に広がる水田は欠かすことができないものと考えております。

このような思いを形に表すため、2月2日に臨時市議会を招集し、肥料費等の価格高騰によりお困りの皆様を支援するための予算案を上程することといたしました。

なお、この支援策を実施するに当たっては、国の交付金だけでなく、市の一般財源も相当額投入して、より皆様のお力になれるように精一杯の努力をしたところであり、この予算案が可決された暁には、農家の皆様の経営継続に寄与できるものと信じております。

今後も、当市の基幹産業である農業をしっかりと守るとともに、農家の皆様が継続して安定した経営が続けられるよう必要な対策を講じてまいりますので、ぜひとも、令和6年以降も、おいしいお米づくりに取り組んでいただきたいと思いますと考えております。

(令和6年2月1日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。